

NO. 2	議席番号	氏 名	質問事項・要旨及び答弁者
	8	新 井 田 昭 男	
<p>1. 木古内町の人口減対策について</p> <p>(1) 第6次木古内町振興計画で、冒頭の挨拶の中に、雇用悪化状況も含め我が町の人口減や少子高齢化のことについて触れているが、第6次振興計画では、具体的な対応策が明記されていないのはなぜなのか。</p> <p>(2) 過去には、先輩議員が様々な視点からこの問題について論じられて来たと思いますが、平成23年第4回定例会の中で同僚議員が『人口減に歯止めをかける対策案について』の質問をし、行政答弁として、「人口減と定住化の促進を進める。」としている。平成24年第2回定例会で、私も『人口減対策について』の質問をし、昭和35年のピーク時の総人口は約13,500人で総世帯数が約2,530戸であったことや、大森町長となった平成14年当時の総人口は6,557人で総世帯数が2,731戸であったという状況を説明し、昭和35年のピーク時以降、我が町の人口減が顕著に表れてきたその対策について質問した。答弁としては、「1次産業の振興や後継者の育成策等を講じ、安定的な雇用の確保に努める。また、総合的に人口減対策と定住化の促進に繋げていきたい。」ということでしたが、具体的な行政の執行状況についてお聞かせいただきたい。</p> <p>(3) 平成24年第2回定例会の質問からすでに2年経過しているが、ことし5月末までの総人口は4,743人で総世帯数2,379戸であり、2年前より人口では274人、世帯数では55世帯減となっており、なんら行政が行ってきた仕事の成果が感じられない。おおむね200人という自然死を考慮しても、80人弱が町内から去っていると思われる状況を町長はどう感じているのか。</p> <p>(4) 昨今、新聞紙上で報じられた2010年から2040年の20歳から39歳までの女性人口が、道内147市区町村で半減し、将来的に自治体を維持出来ない可能性があるという報道があった。我が町は、2010年の331人が2040年には45人となり、2010年から2040年では△86.5%という減少率で、全国で5位、全道で2位という大変な異常事態となった試算結果にどう立ち向かうのか。</p> <p>私は、平成24年第2回定例会でも申し上げましたが、「当初より、この問題は我が町としても最優先課題として取り組む事や、抜本的対策を講ずるべきである。」と提案しました。</p> <p>しかしながら、現状を見てもいっこうにその兆しさ見えな。町民の皆さんの将来に対する不安が全く解消できない中、すでに高齢化率42.6%、小中校生あわせても200人を切ろうとする状況や先行きの自治体存亡危機など、今後、行政は町民への不安を払拭すべき抜本的対策を講ずるのか。講ずるとするならば、どのような手段・方法をもって対処するのか町長の見解を伺います。</p>			町 長